



神を仰ぎ、人に仕う

Chapel News

2013年11月

No.12

「母の没後に思う」

この数年で始めに父を、そして母を天国に送った。数日前に母親の一年の記念式をさせて頂き、両親の没後の心境をつくづく感じさせられている。特に母の魂は記念式を契機によく語りかけてくれるようになった。これも心境のなせる業なのであろうか。



98歳で召された母は、二代目のクリスチャンでカナダ・バンクーバーにて幼児洗礼、日本に戻って昭和の初めに日本メソジスト教会長崎中央教会で信仰告白をしている。祖父は帰国の地として、少なくとも海外に開かれている長崎という地を選んだのであろうが、それでも全てが西洋かぶれとしか受け取られない一家の状況で、みな大変苦勞をしたとのことであった。帰国後のこどもたちにとっては言葉の壁も重圧だったようである。記念式の折に探していたら、母の記録のなかに「愛した聖句」を見つけた。若い頃の記入のようである。ローマ人への手紙 5章1節～5節であった。そこに「わたしたちは知っているのです。苦難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望を生むということ。希望は私たちに欺くことはありません。わたしたちに与えられた聖霊によって、神の愛がわたしたちの心に注がれているからです」とある。この句を支えに、一生懸命に生きようとした母の心に触れることができる。そういえば母はよく「忍耐は最後の勝利をもたらす」ということを言っていた。今から思うとその勝利とは、人が本当に幸福に生き合っていける、神の愛による平和な状態のことであったのだとつくづく思われるのである。若き頃の文化摩擦の試練、戦時下の苦境、そして原爆。女学校で音楽教師をしていた母は、多くの生徒を失った。終戦直後に生を受けた私の出産のために田舎に疎開をしていて自らと家族は被害を受けることもなかったが、それだけに生徒やその家族の悲惨な状況は胸をえぐったに違いない。晩年に至るまでそのことを語っていた。「神の愛による平和」とは言っても、思いが溢れるだけで母には何もできなかった。ただの一市民として希望を捨てることなく賛美歌を歌い、一信徒として生きるのみしかできなかった。90歳を過ぎた頃から認知症を加速させていく中で、自分の愛する心の言葉を手元の紙に書き綴り、周りの人に差し上げるという行為が頻繁になされるようになった。その言葉で最も多かったのはヘルマン・ホイヴェルス神父が記された「・・・楽しい心で年を取り、・・・働きたいけど休み、・・・人のためには役立たずとも柔和であること、・・・老いの重荷は神のたまもの」・・・「来よわが友よわれ汝を見捨てじ」であった。そうして平凡な一クリス教信徒としての人生は幕を閉じた。この平凡さに何にも勝る平和を感じる。

(人間福祉学部長 牛津 信忠)

2013年度年間聖句

「あなたがたは世の光である。山の上にある町は、隠れることができない。そのように、あなたがたの光を人々の前に輝かしなさい。人々が、あなたがたの立派な行いを見て、あなたがたの天の父をあがめるようになるためである。」

(マタイによる福音書 5章14、16節)

行事のご案内

- 台風の影響により延期となった10月16日(水)の創立記念講演会 I (2年生以上対象)は、代わりの時間帯を見出すことができず、残念ながら開催を中止することになりました。
- キリスト教と諸学の会 裏面の掲示板をご覧ください。
- クリスマス点火祭
日時/11月27日(水)16時40分～ 場所/南キャンパス・図書館棟前
メッセージ/山口 博 先生(聖学院副院長・キリスト教センター所長)

聖学院教会祈禱会

- 毎週木曜日 18時30分～19時30分、緑聖ホールC室にて行っています。どなたでも自由に参加ください。

- ・11月7日(木) ネヘミヤ記第7章 東野尚志牧師
- ・11月14日(木) ネヘミヤ記第8章 柳田洋夫チャプレン

全学礼拝期間について

2013年度の全学礼拝は、下記日程で行っています。毎週火曜日から金曜日、10時20分から10時50分です。どなたでも自由に参加ください。

秋学期/2013年9月24日(火)～2014年1月17日(金)

主の祈り

天にましますわれらの父よ
 ねがわくはみ名をあがめさせたまえ
 み国をきたらせたまえ
 みこころの天になるごとく
 地にもなさせたまえ
 我らの日用の糧を今日も与えたまえ
 我らに罪をおかすものを我らがゆるすごとく
 我らの罪をもゆるしたまえ
 我らをこころみにあわせず 悪より救い出したまえ
 国とちからと栄えとは 限りなくなんじのものなればなり



アーメン

掲 示 板

—キリスト教と諸学の会—

10月23日(水)に予定されていた「キリスト教と諸学の会」は、下記の日程に延期となりました。



日 程 11月13日(水)
 時 間 17時30分～18時50分
 場 所 教授会室
 発 表 菊池 有希 先生
 (日本文化学科助教)
 発表題 「島崎藤村『新生』再考」

希望者自由参加

11月6日(水)

—召天者記念礼拝—

奨励者 E.D. オズバーン
 (人文学部チャプレン)
 司会者 佐野 正子
 奏楽者 ングワー 路津子

◆ ◆ ◆

前 奏
 讃美歌 529番 1、2節
 聖 書 イザヤ書40章6～8節(旧約P.1124)
 詩編90編12節(旧約P.929)
 祈 禱
 奨 励 「散る桜」
 (“Blossoms in the Wind”)
 祈 禱
 讃美歌 529番 3節
 主の祈り
 後 奏

11月12日(火)

奨励者 佐藤 千瀬
 (児童学科准教授)
 司会者 菊地 順
 奏楽者 佐野 正子

◆ ◆ ◆

前 奏
 讃美歌 II 188番 1、2節
 聖 書 ローマ人への手紙
 12章2節(新約P.291)
 祈 禱
 奨 励 「何がよいこと？」
 祈 禱
 讃美歌 II 188番 3節
 主の祈り
 後 奏

11月13日(水)

奨励者 中村 馨男
 (こども心理学科教授)
 司会者 佐野 正子
 奏楽者 ナイティンゲール 亜衣

◆ ◆ ◆

前 奏
 讃美歌 301番 1、2節
 聖 書 出エジプト記
 13章17～22節(旧約P.115)
 祈 禱
 奨 励 「火の柱、雲の柱」
 祈 禱
 讃美歌 301番 3、4節
 主の祈り
 後 奏

11月7日(木)

奨励者 内藤 みち
 (コミュニティ政策学科特任講師)
 司会者 左近 豊
 奏楽者 相川 徳孝

◆ ◆ ◆

前 奏
 聖 歌 232番 1、2節
 聖 書 イザヤ書
 41章9～14節(旧約P.1126)
 祈 禱
 奨 励 「共にある」
 祈 禱
 聖 歌 232番 3節
 主の祈り
 後 奏

11月8日(金)

奨励者 野口 祐子
 (人間福祉学科教授)
 司会者 柳田 洋夫
 奏楽者 今村 優子
 讃美リード 山田 哲也

◆ ◆ ◆

前 奏
 讃 美 「御手の中で」
 聖 書 ヨハネによる福音書
 5章1～9節(新約P.171～172)
 祈 禱
 奨 励 「良くなりたいか」
 祈 禱
 讃 美 「御手の中で」
 主の祈り
 後 奏

11月14日(木)

奨励者 村上 純子
 (こども心理学科准教授)
 司会者 左近 豊
 奏楽者 松本 周

◆ ◆ ◆

前 奏
 讃美歌 461番 1、2節
 聖 書 ルカによる福音書
 18章15～17節(新約P.144)
 祈 禱
 奨 励 「子供のように」
 祈 禱
 讃美歌 461番 3、4節
 主の祈り
 後 奏

11月15日(金)

奨励者 小池 茂子
 (児童学科准教授)
 司会者 柳田 洋夫
 奏楽者 今村 優子

◆ ◆ ◆

前 奏
 讃美歌 187番 1節
 聖 書 フィリビの信徒への手紙
 4章4～7節(新約P.366)
 祈 禱
 奨 励 「平安の源」
 祈 禱
 讃美歌 187番 2節
 主の祈り
 後 奏